

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	説明	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				指定基準は一人当たり約4㎡	・冬木は一人当たり9.58㎡
	② 職員の配置数は適切であるか	○				指定基準は子ども10人に対し、児童指導員2人。3~4人いると加配加算がもらえる。5人以上はなし。	・職員の休みが重なると不安を感じる事もある。手厚い支援を必要としている児童が多いので、人数上は、基準より多く配置している、むしろ友だちと遊ぶよりも職員に頼ってしまう傾向もあるので、そうならないように職員間で集団を意識したい。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○					・腰痛対策として、リフト導入の検討をする。
業務改善	④ 業務(活動・行事・施設運営・事務・環境整備など)の改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○				・PDのところは職員みなで行なっているが、振り返るところ(CA)から不十分な場合がある。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				2016年度以降は9月の保護者会で実施→役員会・理事会などで議論→保護者会で公表→都・区に提出→ホームページで公表	改善するよう努めている。説明が足りないところは説明に努めている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○					
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				2016年度枝川、2017年度冬木、2018年度亀戸で実施している。	改善するよう努めている。説明が足りないところは説明に努めている。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○					
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				放課後等デイサービス計画→こぴあでケース記録とか個別支援計画と言われているもの	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○			適応行動とは、年齢相応の周囲の期待の範囲内の行動(社会的な活動への参加、コミュニケーション、運動など)	・スタッフとのミーティングにてアセスメントツールに関する資料を確認した。新版K式に加え、遠城式をやり始めているが、全員にはできていない。アセスメントの定期化とツールの共有化に努めていく。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				活動プログラムとは日々の支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動の事。子どもの障害特性や平日/休日/長期休暇の別途に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○					
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、内容や取り組みをきめ細やかに設定して支援しているか		○				「きめ細やかに設定」という設問へのイメージが人それぞれだったので、意見交換し、概ねできているが、敢えて細かく設定しないことの重要性を確認した。
適切な 支援の 提供	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ活動プログラムや放課後等デイサービス計画を作成しているか	○					・個別・集団を適宜組み合わせ、プログラムを考えている。 ・年間スケジュールに記載されている。スタッフ間で共有するよう再確認を行う。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○					
	⑯ 行った支援の振り返りを行い、気付いた点や子どもに関する必要な引き継ぎ等をスタッフ間で共有しているか	○					・現在ヒヤリハットは、翌日の打ち合わせで周知しているが、翌日にいないスタッフもいるので、周知の仕方を改善する。特に、ケガにつながる様な情報は、迅速に確実に周知できるように、工夫していく。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				個別支援計画に反映している。週ミーティングなどで振り返り、記録内容について話し合っている。	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				子ども一人当たり、年2回ケース会議を行っているが、計画の見直しが必要な場合は、適宜判断している。	
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供	
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				2017年度より計画相談の面談に班の担当職員が同席。	
関係機関 や保護者 との連携	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				各学校から年間予定(保護者を通じてもあるが)を入手。学校(城東・墨東)が開催する放課後等デイサービス連絡会に出席。必要な時に個別支援会議。	
	㉒ 医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○					・冬木は現在医ケアの子は受けていないが、受けている第2と第3は整えている。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	説明	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	②4 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○					
	②5 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○					
	②6 地域の中で活動したり、障害のない子どもと一緒に活動や場の共有したりする機会があるか	○					
	②7 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○					
	②8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				迎えを保護者をお願いしていて、日常的に話すことができるため共通理解が持っている部分が多いと感じている。	子どもの「困っている行動」は直接顔を見ながら伝えたいので、会って話すことが少ない家庭とは、共通理解あうタイミングが遅れてしまう。保護者会や面談等でできるだけ補っていきたい。
②9 保護者の対応力の向上を図る観点から、課題解決のための取り組み(学習会の企画や案内、サービスの紹介、緊急一時保護など)を行っているか。	○				総則には「保護者が子どもに向き合うゆとりと自信を回復することも、子どもの発達に好ましい影響を及ぼすものと考えられる」とある。	・保護者にも個性や価値観があり。それを上手に引き出せているかという自信がないので、今後とも保護者からの意見を言いやすい組織の中で、どのような取り組みが必要か、一緒に考えていきたい。	
保護者への説明責任等	③0 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○					
	③1 保護者からの子育ての大変さや悩み等を聞いた際、傾聴や共感、意見交換を行う、各事業担当職員につなぐなど、適切なサポートにつなぐ取り組みを行っているか	○					
	③2 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○					
	③3 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○					
保護者への説明責任等	チェック項目					説明	改善目標、工夫している点など
	③4 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○					
	③5 個人情報に十分注意しているか	○					
	③6 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○					
	③7 事業所や障害理解の増進を図るため、地域住民に向けた行事を行う、ボランティアや実習生を広く受け入れる等、地域に開かれた事業運営を図っているか	○					
非常時等の対応	③8 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○					
	③9 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○					
	④0 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○					
	④1 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○					
	④2 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○					
	④3 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○					

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表 集計：冬木分（12/13名）

		チェック項目	はい	どちらともいえな	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	1	0	0	
	②	職員の配置数は適切であるか	10	1	0	1	・夏休み中や土曜日が少ない（どちらとも…）
	③	障害を持つ子どもへの職員の知識や対応は適切であるか	11	1	0	0	・（職員の）個人差がある（どちらとも…）
	④	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	0	0	0	無回答 1
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が理解された個別支援計画が作成されているか	12	0	0	0	
	⑥	活動プログラムは、子どもの興味関心や放課後（長期休暇）に相応しい内容になるよう工夫されているか	12	0	0	0	
	⑦	地域の中で活動したり、障害のない子どもと一緒に活動や場の共有をしたりする機会があるか	8	4	0	0	・地域の中での活躍はしているが、障害のない子との交流はわからない（どちらとも…） ・日程調整などで健常児との交流は難しい（どちらとも…） ・プールと一緒に入って喜んでいました（はい）
保護者への説明等	⑧	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	0	0	0	
	⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	1	0	0	・職員同士では行っていると思うが、保護者に対してはあまりない（どちらとも…）
	⑩	面談では一方的な説明だけでなく、保護者の願いへの傾聴や十分なやりとりがされているか	12	0	0	0	
	⑪	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	0	0	0	
	⑫	子どもや保護者からの苦情について、窓口を周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1	0	1	・その時によって対応が違うことがある（どちらとも…）
	⑬	外国籍やコミュニケーションに配慮が必要な保護者に対して情報伝達のための配慮がなされているか	1	2	0	9	・外国籍の子供がいない（わからない） ・見聞きした事がない（わからない） ・対象者を知らない（わからない）
	⑭	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	0	0	0	
	⑮	個人情報に十分注意しているか	11	1	0	0	
非常時等の対応	⑯	緊急時対応マニュアル等のマニュアルを策定し、保護者に費用な情報が周知・説明されているか	11	0	0	1	・地震や河川の氾濫時にどこに避難するのか知らない（わからない）
	⑰	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	0	0	0	
満足度	⑱	子どもは通所を楽しみにしているか	12	0	0	0	・休みの日もこぴあに行きたがる（はい） ・毎日「こぴあ？」と聞いてきて楽しみにしている（はい）
	⑲	事業所の支援に満足しているか	12	0	0	0	・何か問題があっても言いやすい環境で満足（はい） ・学校帰り疲れていてもその時々に対応してくれる（はい）